

## 『おうちのね』

なかがわ

中川 ひろたか／ぶん

ひゃく-せんとおれんじ

100 % ORANGE／え ブロンズ新社



おんなのこが じめんに しかくを かいたら  
さあ おうちの できあがりです。おうちの なか  
で ごはんを つくります。できたのは おまめの  
ごはん。おいしい おいしい。こんどは おかいも  
のに いきましょう。でも どうしよう。ザーザー  
あめが ふってきました。



## 『巣のはなし』

くふういっぱい、いきものたちのいえ』

ダイアナ・アストン／文 シルビア・ロング／絵

ちば しげき やく ほるぷ出版 481

生き物たちの巣を見たことはありますか。とげ  
とげの巣や、かみでできた巣。いしころの巣に、あ  
わでできた巣もあります。アナツバメは、自分のつ  
ばで巣をつくるそうです。それぞれの生き物が、  
知恵をしぼって、自分たちの家をつくれます。どう  
やってできるのかな。みてみよう。



## 『みんな おかえり』

飯森 ミホ／作・絵

金の星社

たくさん あそんだ あとに、ボールさんは ボー  
ルさんの おうちへ かえります。クレヨンさんは  
クレヨンさんの おうちへ かえります。あれ？ く  
まさんも かえっていくよ。みんな どんな おうち  
へ かえるのかな。



## 『パインさんのむらさきのいえ』

レオナード・ケスラー／さく 小宮 由／やく

大日本図書 933

パインさんは、にわに 小さい マツの木を うえ  
ました。すると、そのとなりの ひとつも、そのまたと  
なりの ひとつも、まねをして マツの木を うえてし  
まいました。こんどは ツツジを うえましたが、そ  
れも みんなに、まねされて しまいます。こまった  
パインさん。こんどは いえの いろを ぬりかえよ  
うとしますが、はたして どうなることでしょう。



## 『アパートのひとたち』

エイナット・ツアルファティ／作

青山 南／訳 光村教育図書



女の子がすんでいる 7階だてのアパートは、  
どのうちも ドアが ちょっとずつ ちがいます。  
1階のうちのドアは かぎが いっぱい。どろぼう  
の家族が すんでいるのかもしれないと 女の子  
は そうぞうします。ほかの階の家も ドアのまえ  
が なんだか おかしいのです。いったい どんな  
ひとたちが すんでいるのかな。



## 『じいちゃんの山小屋』

佐和 みずえ／作 カシワイ／絵 小峰書店 913

父親と大げんかになった小学六年生の航太は、じ  
いちゃんの家で暮らすことになりました。でもそこ  
は、電気も、お風呂も、トイレもない、山小屋でし  
た。最初はとまどう航太でしたが、じいちゃんの育  
てている蜂の世話をしたり、洞窟を発見したりと、  
山での生活が楽しくなっています。しかしそんな  
ある日、事件がおこってしまいます。



## 『はじめてのおるすばん』

しみず みちを／作 山本 まつ子／絵

岩崎書店

ことし 三つの みほちゃんは、はじめて おるす  
ばんを することになりました。ままが でかけて  
しまうと、いえの なかには、みほちゃんと ぬいぐ  
るみの こぐまちゃん だけです。へやの なかは、  
しーんと していて、なんだか こわく かんじて し  
まいます。そのときです。「ぴん・ぽーん」と、げ  
んかんの ちゃいむが になりました。



## 『家をせおって歩く かんぜん版』

村上 慧／作 福音館書店 702

この本の作者、村上慧さんは、自分で作った発泡  
スチロールの家に住んでいます。その家を背負っ  
て、日本や外国を旅しています。旅先で出会った人  
たちとおいしいものを食べたり、時には、家ごとカ  
ラスにつつかれたこともあります。滋賀県にもき  
ているので、写真を探してみてね。